球磨工業高校　教務だより　５月号

「本を読む」

令和３年（２０２１年）５月２６日発行

人生100年時代の社会人基礎力

自己管理　主体性　自己啓発　誠実　敬愛

早くも梅雨入りし、洗濯物が乾きにくい日が続いていますね。湿度が高いと体調を崩しやすくなります。元気に登校できるよう、健康面・衛生面にも心配りをした生活をするようにしましょう。

今月のテーマは「本を読む」です。本を書いている人は、どのくらいの時間をかけて、書き上げているのでしょうか。おそらく何千時間、何百日もかけて良い本にしようと試行錯誤しています。ストーリーを練り、言葉を選び、人の気持ちになり、数多くのデータを取り、新しいものを紡ぎ出す。色々な分野のプロが、努力の結晶として作り上げたものが「本」です。私たちは、少しのお金と少しの時間で、その努力の結晶である「本を読む」ことができますし、読むことで物語を楽しんだり知識を得たりできるのです。新しい世界をのぞき込むために、「本」を読みましょう！

読書とは「学び」である

図書部　　寺田小百合

本を読むということは、自分と違った人間の考え方や人生を追体験するということ。
なぜ本を読むのか？それは、自分の経験を増やす、自分の枠を広げる、自分に力をつけるためである。

私は日頃から図書館は素敵な場所だと思っています。なぜかというと、１冊１冊の本にはその人の経験、人生、知識などが凝縮され、分かりやすいように整理して綴られて、**「読んだ本の数だけ、場所や時間を超えて、人と知り合いになれる」**、図書館はそのような場所だと思うからです。会ったこともない人と話す、行ったこともない場所に行って、いろんな体験をする、広い世界が広がっています。

私は小学校５年生の夏休みに、『ロザリオの祈り』という本を読みました。長崎の原爆で被爆された永井博士さんとその娘さんのお話です。ページをめくる度に、次々に涙が出てきて大変でした。その後、修学旅行で訪れた長崎の原爆資料館で、何気なく目をやった先に、偶然にその話に出てくる本物のロザリオを見ました。小学生だった私は、突然に本物を見た驚きと、自分が前に読んだ物語を実物をもって感じることで、自分が少し賢くなった気分になり、修学旅行中、静かに感動しました。それからずっと、本とは人生を豊かにしてくれるものだと思っています。最近は、原田マハさんの小説の面白さがじわじわとくる感じがよく、すぐにファンになり、原田マハさんの別の作品をもう１冊読みました！

みなさんも、**「何か面白いことないかな～」と、気軽に、昼休み、放課後、図書館に足を運びませんか？**

球磨工の図書館の本、それは球磨工生のための本です。そして、将来の進路選択の岐路にいるみなさんが、あまり利用しないのは、**本当にもったいない**ことです。球磨工では、朝読書の時間があります。**１日１０分の脳の筋トレです。毎日少しずつやると、できることが増え、慣れていき、内容もついてきます。朝読書の本も是非、図書館から選び、１日１０分学校全体で「読み」ましょう。**

球磨工版・本選びのススメ

■文字を**読むのが苦手・・・・**
⇒**『５分で結末・・・』シリーズなどの短い**本、図書館にありますよ！

■**同じ本をずっと読んでる**人
⇒１日１０分 or １０ページ＝**１か月１冊にペースＵＰ！そして、次の本に進む！**

■**本選びで失敗したくない！**
⇒**高校生のための 100 冊の本(各クラスに有。おススメ！)から選ぼう！**

■**本は選んだけど、もう読みたくない・・・**
⇒せっかく選んだ本、**目次を見て、読めそうな部分だけ読んで次の本へ！**

■**授業、部活動命！**
⇒**授業で興味がわいたこと、部活動関連本で自分の自信を深めよう！**

■**読書が趣味の人**
⇒脳は楽しいことを一番学んでいる。楽しいと感じる**ジャンル（分類）を広げて読んでいこう！**

■**偶然の本のとの出会いを楽しみたい人**
⇒とはいえ、本屋大賞など**受賞作品、売上げランキング**を参考にしては！

■**どうしていいか分からない**
⇒**司書の坂口先生、図書委員(図書館だより)、先生、友人に聞く！これが１番！**

参考文献
明日の自分が確実に変わる　１０分読書　吉田裕子　集英社
頭は「本の読み方」で磨かれる　茂木健一郎　三笠書房

本との出会い！

図書館司書　坂口真奈美

小学校低学年の時、読書好きとは言えませんでした。小学１年生の夏休みの宿題「読書感想文」。必要に駆られて読んだ芥川龍之介の『蜘蛛の糸』は、家にある全集の中の一番短い作品でした。今みたいに『５分で読めるシリーズ』などない時代です。１ページ２段の細かな字をどうやって読んだのか覚えていませんが、その作品が毎年の定番となりました。何回か書くうち入選を果たした事から別の本を読まなければならなくなり、そこから読書が始まったように思います。

短編から徐々に中編、長編へと小説を読み、悩み解決のため啓発本を読み、動植物の生態を知るため、社会の情勢を知るためにとあらゆる分野の本と出会い、その時の自身の事情と本が相まって読書好きへと変化していったように思います。「今、手に取った本が今の私にとって一番必要な本」だと思いながらいつも本を読んでいます。

どんな本が面白いかは人それぞれです。手にした本を読んでみる。何を読んだらいいのかわからないときは感想文集や有名人の出している読書案内等を参考に本を読んでみるのも一つの手ではないかと思います。身近なところでいうと毎年出されている『高校生のための百冊本』があります。各クラスや図書館に置いています。これも読書案内です。「読んで良かったなあ」と思える本に出会えるかも知れません。

職業柄、未だに必要に駆られて本を読む事が多いのですが、良い本と出会えたときは嬉しくなります。今年の本屋大賞、町田その子の『５２ヘルツのクジラたち』もその一つです。（ノミネートされた１０作品の内この１冊しか読んでいませんが・・・。）そのほかにも千野帽子の『読まず嫌い。』千田琢哉の『人生で大切なことは、すべて「書店」で買える。』浅葉なつの『神様の御用人』などたくさんあります。（紹介した本はすべて図書館にあります。）

球磨工図書館には、歴代の司書や先生方が厳選した魅力あふれるたくさんの本があります。本棚の隅から隅まで見てみると思いがけない本に出会えるかも知れません。

本との良い出会いができるよう、本と共にみなさんを待っています。

6月　2021.June　令和3年・水無月

月／mon	火／tue	水／wed	木／thu	金／fri	土／sat	日／sun
31 高校総体	1 高校総体	2	3	4 眼科検診（１年）	5	6 2級土木施工管理技術検定
7（検） 【水曜日課】 SC（予定）	8	9 基礎力診断テスト［全学年］	10 公開授業週間（～16日） SC（予定）	11 ⑥生徒総会 漢字検定 結核健診予定（１年） 機械製図検定	12 熊本県高校生ものづくりコンテスト →	13
14	15 歯科検診（１年）	16 耳鼻科検診（全生徒）	17	18 ⑥人権教育LHR(3年) 計算技術検定	19	20
21（検）	22（短）朝読なし キャリアパスポート［期末考査］	23 眼科検診（２年）	24 眼科検診（３年） SC（予定）	25 情報技術検定	26	27
28	29 期末考査 →	30	1 求人票受付開始	2 機械製図検定二次	3 ものづくりコンテスト九州大会 高校生溶接技術熊本県大会	4 →